

令和4年度 第2回 舟橋村立舟橋小中学校 学校運営協議会 概要報告

- 1 日時 令和5年2月28日(火) 15:30~17:00
- 2 場所 舟橋会館 2階研修室
- 3 出席者 良峯 喜久男(舟橋中学校同窓会長) 前原 英石(体育協会会長)
深川 敦夫(自治会連合会長) 山岸 克彦(立山舟橋商工会副会長)
米澤 忍(舟橋小学校育成会長) 平川 和幸(舟橋中学校育成会長)
松下 雅人(舟橋小学校長) 内生蔵 保人(舟橋中学校長)
竹島 和子(社会教育委員代表) 川崎 和夫(社会福祉協議会長)
京角 由美(主任児童委員) 高野 良子(舟橋図書館長)
清水 日登美(舟橋会館長)
土田 聡(ふなはしテトラ協働本部統括コーディネーター)
高見 要宇子(同 小学校担当マネージャー)
欠席者 野村 智浩(同 中学校担当マネージャー)
- ※以下、「ふなはしテトラ協働本部」を「テトラ」と記します。
- 事務局 早川 誠一(教育長) 加藤 美希(学校教育係主事)
島田 翔平(社会教育係長)

4 内容

(1) 開会挨拶 <早川教育長>

- ・本会議は、皆様に学校の活動に参加いただき、もっと知っていただいた上で、様々なご意見を伺えるとよいのですが、コロナ禍で学校行事も全てが再開とはなりませんでした。
- ・それらを踏まえた上で、第2回目の今回は、各学校等からの報告を聞いていただき、委員の皆様のご質問やご意見をお聞かせください。

(2) 会長挨拶 <良峯会長>

- ・各学校においては、活動規模やマスク着用の対応など、学校運営の中で対応すべきことがたくさんあったかと思いますが、令和5年度は新型コロナウイルス感染症が2類から5類に下がり、地域活動及び学校運営が徐々に再開され、笑顔あふれる舟橋村が戻ってくるのではないかと思います。
- ・では、今年度の各学校の運営状況について報告いただき、委員の皆様には連携・協働を念頭に、次年度に向けて建設的な話し合いにご協力いただきますようお願いいたします。

(3) 報告及び協議(会長による進行)

① 小中一貫教育の状況について

<内生蔵校長> 令和4年度『舟橋村「9年間の学びの世界」』について

【地域連携】「踊り場のない階段づくり」

- ・地域を見直し、地域に学ぶ総合的な学習の時間の中で、中学校は計画を立案し、また、小学6年生を中心として地域の方と共に細川の清掃活動を実践しました。

【人格形成】「心の教育の推進」

- ・小学6年生の部活動体験やメッセージ交流など、小中それぞれの縦割り活動の実践をしました。

【健全育成】「読書活動の推進」

- ・ 中学1年生が村立図書館長から指導を受け、小学校へ出向いて本の読み聞かせをし、小中間だけでなく、村立図書館の司書とも交流をもちました。
- ・ 地域学校保健委員会では、小学5年生と中学2年生がメディアコントロールについて取り組みました。

【協働学習】「ふなはし学び合いスタイル」

- ・ 学び合いを通じた学級生活の見直しを行い、清掃や委員会活動、行事を通じた縦割活動を実践しました。

成果・部活動体験や地域学校保健委員会等の場を通じて、児童生徒が往還する中で、顔がつながるコミュニケーションが充実しました。また、学校毎でもメディア利用に係る問題や解決目標を共有した協働学習が楽しく実践できました。

課題・「川でつながる環境教育」を含めた総合的な学習の時間の指導計画の見直しや、学び合い、言語活動、ICTの活用等における児童生徒の実態把握の方法や評価の在り方について検討します。

② 『社会に学ぶ「14歳の挑戦」』のまとめについて

<内生蔵校長>

【参加生徒】 中学2年生 40名

【実施期間】 令和4年7月4日(月)～8日(金)の5日間

【受入事業所数】 13か所

- ・ 事後アンケート結果より、生徒からは、活動に対する高い充実感があったことが予想され、保護者からは、活動日誌に保護者コメントを求めたことにより、親子で活動内容について話し合われたことが分かりました。また事業所からは、活動の内容を十分に理解して生徒の受け入れにご協力いただいていることも分かりました。

成果・学校から離れて1週間じっくりと活動することで、生徒自身が可能性や改善点に気付くことができています。

- ・ テトラが、受入事業所の確保や指導者との連絡調整などを担当していただくことにより、教員の負担軽減に大きく効果を挙げています。

課題・学校側の計画や担当者の確認を確実にを行い、テトラの機能を効果的にします。

③ 各学校の運営状況について

◎舟橋小学校【重点目標】自主性と思いやりの心の育成

<松下校長>

【ふ】 ふるさを愛し、地域に学ぶ子供

- ・ 4年生は舟橋村の安全・防災について学び、5年生はこども園と多く交流をもち、6年生は「川でつながる環境教育」を通じて、舟橋村の自然と環境について体験学習を実践しました。
- ・ 3年生は「ふふふプロジェクト」という舟橋村の農業について、田植えから収穫体験をしたり、農園やレタス工場を見学したりして、体験学習を実践しました。

成果・地域の方や園児等、他者との関わりにより、子供たちに思いやりの心、感謝の心、村を大切に思う心が育ってきているように感じます。

課題・今後も地域と触れ合う活動を工夫し、協力を得られるよう働きかけていきます。

【な】 なかよく助け合い、思いやりあふれる子供

「挨拶活動への取組」

- ・運営委員会が毎朝、児童玄関前や校門に立ち、登校してきた子供たちに挨拶をするなど様々な取組を行いました。その結果、「自ら挨拶をすることができたか」という自己評価が64.7%と、挨拶の意識が高まってきているように思います。

成果・数値目標は達成できなかったが、意識は高まっているように思います。

課題・児童会を中心とした取組や挨拶の大切さや意義を考えさせるような学習や指導を継続していきます。

「異学年での交流活動」

- ・今年度は異学年での交流活動を多く取り入れることで、温かく優しい声かけが増えてきたように思います。

「人権週間に取り組んだ道徳科の学習」

- ・12月の人権週間に学校司書の読み聞かせ動画を教材として、全学級の道徳科で学習をしました。子供たちなりに「優しさ」や「自分や友達のよさ」について学びました。

【は】 働くことをいとわず、進んで行動する子供

- ・メディアの使用時間について数値目標を設定し、生活リズムチェックシートや掲示物等を利用して取組を実践しました。また富山大学の山田先生の講演を受け、多くの子供たちはネット依存の恐ろしさを知ることができました。

成果・目標である達成率80%は難しかった。

課題・保護者向けの山田先生の講演会を実施するなど、保護者を巻き込んだ方策を工夫していきます。

【し】 しっかりと見聞きし、よく考える子供

- ・「ふなはし『学び合い』スタイル」の充実を課題とし、各学級に合わせた具体的な目標を設定して取り組みました。

成果・概ね「話し上手」「聞き上手」の数値目標は達成できました。今年度は『聴き合い』を大切にし、教師と子供、子供同士の温かい関係づくりを目指し、その成果が現れてきています。

課題・今後も『聴き合い』を大切にした授業づくり、学級づくりを継続し、学力の向上や心の面の成長を促していきます。

【保護者アンケートより】

- ・重点目標である、自主性と思いやりの心の育成について実践し、地域で様々なことを学習できたことにより、学校運営について概ね保護者の皆様に理解いただけていると思われま。

◎舟橋中学校【教育目標】学びの精神をもち、仲間を思いやり、たくましく生きる
＜内生蔵校長＞

【知】・アウトプットを重視した授業づくりやICTの活用、少人数指導やTT指導に取り組みました。全国学力調査では学力低下の傾向にあり、教師の指導力向上を課題とし、授業に対する生徒の自己評価と同時に「生徒による授業評価」について今年度実践しました。今後も継続して取り組んでいきます。

【徳】・各学年で修学旅行での平和学習や「14歳の挑戦」、絵本の読み聞かせを実践し、校内の仲間や平和、地域の人達とのつながりを学ぶことができました。

【体】・体力・運動能力、運動習慣等調査では県や全国の平均を上下し、経年変化として低下はみられませんでした。体育の授業で運動の機会を十分確保できていると感じています。

・視力低下や中学1年生男子の肥満割合など懸念される事項もありますので、改善できるように取り組んでいきたいと思えます。

【保護者アンケートより】

・概ね肯定的に理解いただけていますが、「学校への相談のしやすさ」についてはもっと努力が必要であると感じました。「学校に期待する教育や指導」として、コミュニケーション能力の向上が挙げられました。

【総括】

・家庭学習とこころの教育について、9年間の取り組みが大切であると考え、小学校と連携しながら次年度以降取り組んでいきます。

④ 地域学校協働活動について

＜土田委員（テトラ統括コーディネーター）＞

「算数学習会」舟橋会館にて

・定期：月・水 19時～20時半 23名（小学3年～中学1年）

長期休業：夏休み、冬休み、春休み

※定期・長期 合わせて年間65日の予定

指導者：大学生と社会人の12名が登録（うち10名が村民）

「14歳の挑戦」

・学校に代わって受入事業所の依頼をし、13事業所に受け入れていただきました。

「地区合同防災訓練」9月25日(土)

・希望者を募り、児童15名、保護者6名で実施しました

・小学4、5年生が総合的な学習の時間に防災について学んでおり、それを活かす場として、役場防災担当者、上市消防署舟橋分遣所、舟橋村社会福祉協議会、日赤富山支部の方々の協力を得て実践しました。

・円煙体験、水消火器訓練、風呂敷リュックサック作りなどを体験しました。

「川の美化活動」10月1日(土)

・テトラでは地域住民への参加の呼びかけを行いました。

・参加者が70名ほど集まり、舟橋会館裏の細川のゴミを拾いました。タイヤや金属

品など大量のゴミを回収することができました。

「ながら見守り隊」

- ・高齢化に伴い、見守り活動の継続が難しくなってきたことを受け、“〇〇しながら子供たちを見守る”という「ながら見守り隊」を募集し、現在140名の方が登録をいただいております。
- ・地区ごとに4色に分け帽子を作成し、登録者に配布しました。またのぼり旗も作成し、地域の各所に立てる予定です。

その他「村内団体の依頼対応」「各種チラシの作成及び配布」「各種ボランティアの募集」など取り組みました。

⑤ その他

<山岸委員>

- ・「14歳の挑戦」は、例年7月初旬のとても暑い時期に実施されています。期間中、子供たちはとても楽しそうで充実した体験をしてはいるようだが、外の暑い中での作業は子供だけでなく、事業所さんにとっても大変ではないでしょうか。例えば9月に実施など時期をずらすことも考えてみていいのではないのでしょうか。

(内生蔵校長) 7月という時期で受け入れてくださる事業所さんも多いというのと、毎年、富山市三成中学校と同じ時期になることが多く、事業所によっては他校生徒とのふれあいもできればという思いもありました。健康面も考慮しつつ時期についても考えていきたいと思えます。

(土田委員) 実施時期については協議していきます。受け入れ事業所を増やしていくことも可能なので、近隣の事業所情報がありましたら教えてください。

(早川教育長) この協議会は「14歳の挑戦」の推進委員会も含んでいるので、このような貴重なご意見はとてもありがたいです。

<良峯会長>

- ・竹鼻リバーサイド公園で、どのような活動をしておられるのか、教えてください。シルバー人材センターで除草をしていますが、小学生が何か活動しておられるので、すごく草が伸びた時期に除草をしていいのか迷ったことがあります。

(早川教育長) 公園は村の土地であり、子供たちが自由に使っています。今年はミニヒマワリを植えたりしていました。シルバーさんに今年は2回程除草を頼んだと思いますが、夏に公園を見に行ったときに、確かに草がすごく伸びており、ミニヒマワリが負けていましたので、1度私と田中生活環境課長と古川議員さんとで除草しました。

小学生はこの公園を利用して、とてもいい学習をしています。手作りの花壇やホタルの幼虫を飼育して放したりして、今年の夏は過去最高の80匹のホタルを観察することができたようです。

少し遠いですが、また今後も活動してもらえたらと思います。

(松下校長) 今年の6年生は“村をよくしていきたい”という思いが強く、公園での活動についてもたくさんの案が出ました。今年はミニヒマワリ、ラベンダー、シャクヤクを植えました。ただ、植物のお世話というのはとて

も難しく、取り掛かりはしても、その後なかなかお世話に行くことができませんでした。

(土田委員) テトラでは、花壇の手入れのお手伝いしてくださる地域の方を募集することができます。学校が困っていることをぜひ教えてください。

(松下校長) ありがとうございます。来年度の取組について確認してみます。

<早川教育長>

- ・昨日(2/27)、小学校全児童でサケの稚魚を放流した様子をTVや新聞に取り上げてもらいました。
- ・他の小学校などでもサケの稚魚放流はされていますが、舟橋小学校のすごいところは、卵からふ化させていることだと思います。放流してから大体4年ほどかけて遡上してくるので、それを観察しています。今年の6年生は3年間継続して取り組んでいました。
- ・9月に**村立図書館と小学校がオンライン**でつながり、これで小中学校ともに村立図書館との蔵書の相互検索が可能となりました。子供だけでなく教員も利用して授業に役立っています。また、今年度よりフルタイム勤務の小中学校兼務学校司書を配属し、読み聞かせなどを通して子供たちとよく関わってくれております。
- ・令和5年度の予算要求には、村立図書館の貸出カードが利用できる貸出システムを小中学校に導入したいと考えております。
- ・**部活動改革**については、順次関係機関には説明しておりますが、令和5年度から休日部活動の地域移行推進ということで、国の補助金を活用(令和6年度より)して「小中学生交流教室」という取組を進めていきます。これは、中学校の部活動の種目を小学生も体験できるような仕組みです。
- ・令和5年度から、村で一括して舟橋村の小中学生全員分のスポーツ安全保険に加入し、地域学校協働活動の参画団体での活動も保険の対象とすることで、指導者の方々も安心して活動していただけるように予算要望しております。

<事務局>

- ・第1回会議でお知らせしましたが、今年度より英語検定料補助金として、申請者に対し検定料のうちの3千円を補助しています。
- ・本日現在で申請者は17名です。来年度も継続していく予定です。

(6) 閉会挨拶 <前原副会長>

- ・学校からの丁寧な説明等、ありがとうございました。また、いい意見交換もできたように思います。この会議は来年度以降も続きますので、この後もしご意見がございましたら、村教育委員会の方へお願いいたします。
- ・「川でつながる環境教育」に関する学習発表会では、子供たちの姿に感動しました。議会に寄せられた要望につきましては、難しい面もありますが、今後協議していきます。
- ・この会議につきましては、今年度で役員交代という方もいらっしゃると思います。新しい役員に替わられましても、引き続き、皆さんで子供たちを育てていこうという思いで協力し合いましょう。